



つやま産業塾市民公開講座

## 津山にもチャンスはある!

12月12日 津山国際ホテル

「産業の振興と発展は人づくりから」の認識の下「自ら考え、自ら行う人づくり」を基本理念として講座を開催している「つやま産業塾」。今年度の公開講座は、立命館大学教授で市政アドバイザーでもある杉山慎策さんを迎えて開催されました。

杉山さんは「リーダーは変革者であるべき。変化の中にチャンスが生まれる。個人が情報を発信できる時代だからこそ、津山にもチャンスがある」と語り、評論家になるのではなく、実行することの大切さを訴えました。



生誕180年記念企画展

「美作の板垣退助と呼ばれた医師 仁木永祐」

## 郷土の偉人に思いを馳せる

11月28日～3月21日 津山洋学資料館

幕末から明治期にかけて、医師・教育者・地方政治家として郷土のために汗を流し、自由民権運動にも参加して「美作の板垣退助」と呼ばれた仁木永祐。その生涯を振り返る企画展が津山洋学資料館で開催されています。

実際に使用した医療器具や宇田川興齋から贈られた薬だんすやツボの位置などを示した経絡人形など、約50点を展示しています。郷土の偉人の活躍に思いを馳せに、ぜひご来館ください。

津山自然薯祭り

## 自然の恵みに舌鼓

12月5日 自然薯出荷場(下高倉西)

今年も自然薯出荷場で「津山自然薯祭り」が開かれ、多くの市民が訪れました。

色白でねばりと風味が絶品の自然薯は、地元で開発され、平成9年に自然薯で初めて農林水産省に品種登録された「草苜号」。無機質でミネラル豊富なトッコウ土で栽培されているそうです。

自然薯のほかにも、やまかけうどんやムカゴのかきあげなどの販売もあり、訪れた人は自然の恵みいっぱい味わいに舌鼓を打っていました。



第3回 さわやか盆栽教室

## 正月を迎える準備ができた!

12月19日 グリーンヒルズ津山リージョンセンター

今年度3回目の盆栽教室は、正月用飾りの盆栽の制作。赤い実をつけたカラタチバナとハボタン、リュウノヒゲを寄せ植えし、コケを敷き詰め、最後に白いかんすい砂をまきました。枯山水庭園をイメージした、赤と緑、白のコントラストの美しい盆栽です。

受講生たちは、正月らしい、おめでたい盆栽の前に「玄関の下駄箱に飾ろうね」「コケの味わいがきれい」などと話しながら、お互いの作品を鑑賞していました。

秋の津山城!! 2010 ご当地グルメフェスティバル

## 津山城で紅葉もご当地グルメも満喫

11月20～21日 津山城(鶴山公園)



紅葉が見頃を迎えた津山城(鶴山公園)に津山や県北を中心とした県内ご当地グルメと特産品が大集結。市内外から2日間で約6千人が訪れました。

9月に開催された「B-1グランプリ」で入賞したひるぜん焼きそばや津山ホルモンうどん、さらに目生のカキオコなどの人気ご当地グルメには長蛇の列も。笠岡市から夫婦で訪れた久保邦男さんは「20年振りの津山ですが、ホルモンうどんなどの人気でまちが明るくなったように感じます。これからあば温泉にも行ってみたいです」と話してくれました。

併せて文化財課学芸員による津山城探訪ツアーも行われ、津山城の歴史や発掘現場の説明、備中櫓の解説などが行われ、多くの歴史愛好者や観光客が興味深く聴いていました。

津山市家庭教育推進協議会講演会

## 夢をあきらめないで

11月24日 津山文化センター

元プロ野球選手・桑田真澄さんの「人は夢を育て、夢は人を育てる」と題した講演会が開催されました。桑田さんは、母親に励まされ乗り越えた試練や幼少期からの夢だったメジャーデビューなど、さまざまなエピソードを通して「夢は絶対にあきらめないでほしい」と約1,000人の聴衆に語りかけました。

ステージ上で桑田さんと握手し、サインももらった安井康晟くん(勝加茂小3年)は「とても優しく大きな手でした。桑田選手みたいなプロ野球選手になりたいです」と目を輝かせていました。



キハ28・58 ラストラン

## 最後の雄姿に別れを惜しむ

11月20～21日 JR津山駅

「みまさかスローライフ列車」などで活躍したキハ28・58系気動車が「ありがとうキハ28・58号」のヘッドマークを付け、JR津山線の岡山-津山間を駆け抜け、現役を引退しました。

駅や沿線には多くの鉄道ファンたちが集まり、記念撮影でキハ28・58号を見送りました。

この日運行されたキハ28・58のクリーム色と朱色の車両は、今後もJR津山駅構内の「津山扇形機関車庫」で見られるそうです。